

# 「健全化判断比率」などに見る長崎県の財政状況

全国の自治体は、財政の健全度を示す4つの指標を公表することとなっており、これらを「健全化判断比率」といいます。本県の各指標は、いずれも健全な数値であり、全国的にも中位に位置しています。ただし、県税収入の割合が低いことなどから、県が独自に使えるお金は少ない状態が続いています。

健全化判断比率の4つの指標は良好			県が独自に使えるお金は少ない	
指標	長崎県	早期健全化基準※	指標	長崎県
<b>実質赤字比率</b> 一般会計を中心とした赤字の割合	0% (赤字なし)	3.75%	<b>財政力指数</b> 標準的な行政サービスに係る費用を県税などの収入で賄える割合。指数が高いほど費用を自ら賄える	0.343 全国で41位
<b>連結実質赤字比率</b> 一般会計・特別会計・企業会計を合わせた赤字の割合	0% (赤字なし)	8.75%		
<b>実質公債費比率</b> 年間の借金の返済額の割合	11.2% 全国で25位	25%	<b>経常収支比率</b> 人件費や借金の返済など、定例的な支出が県税などの定例的な収入に占める割合。比率が高いほど自由に使えるお金が少ない	97.9% 全国で45位
<b>将来負担比率</b> 将来の負担となる借金の割合	198.3% 全国で26位	400%		

※この数値を超えると財政健全化の取り組みが必要 (全国順位は、平成30年度決算における順位)

## 今後の方針

県では、幼児教育の無償化などの人づくり、国土強靱化のための社会資本の整備および収支改善の取り組みを一体的に進めています。厳しい財政状況の中、引き続き徹底した経費の節減と効率的な事業執行に努めるとともに、地方税財源の確保にも力を注いでいきます。

## 総合計画チャレンジ2020の5つの未来像の実現のために



### 交流でにぎわう長崎県

UIターン促進のため、対象に応じた情報発信や、住宅支援員の配置による相談体制の強化、移住者の就業・創業・事業承継などを支援しています。



### 地域のみんが支えあう長崎県

健康長寿日本一を目指して、県民の皆さんが主体的に食や運動などの健康づくりに取り組む環境整備を進めています。

### 次代を担う「人材」豊かな長崎県



ふるさと長崎の魅力を実感し、愛着と誇りを持ち、地域社会や産業を支える人材を育成するため、ふるさと教育に取り組んでいます。

### 力強い産業を創造する長崎県



海洋エネルギー、ロボット・IoT、航空機の3つの産業分野に着目し、新たな基幹産業の創出に取り組んでいます。

### 安心快適な暮らし広がる長崎県



自然災害から県民の皆さんの生命・財産を守るため、河川の氾濫を防ぐ護岸整備などを進めています。

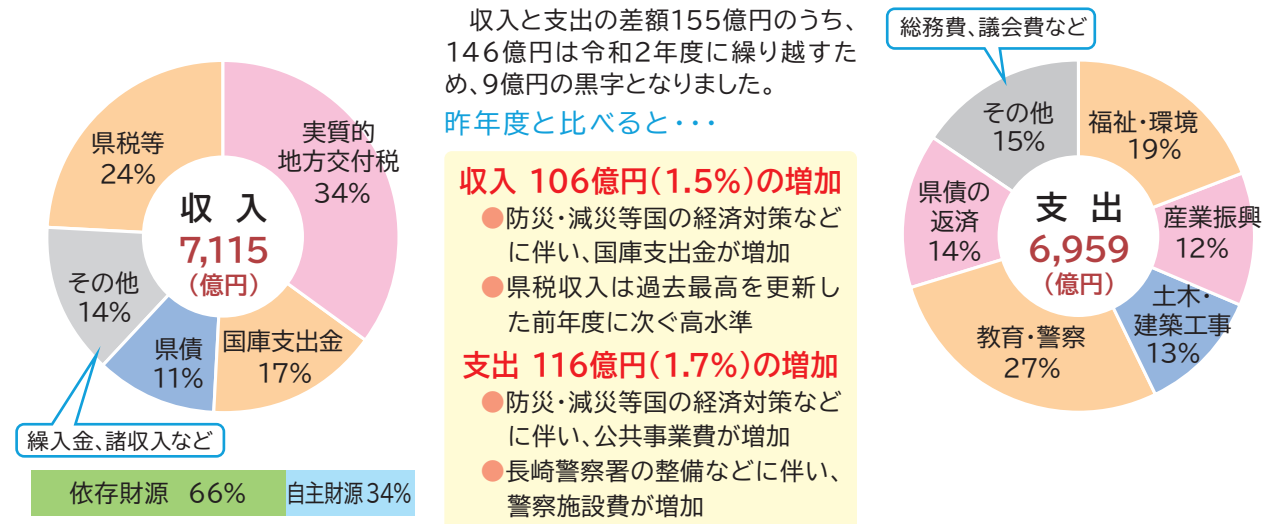
# 特集 1

# 長崎県の財政事情

## ～令和元年度決算～

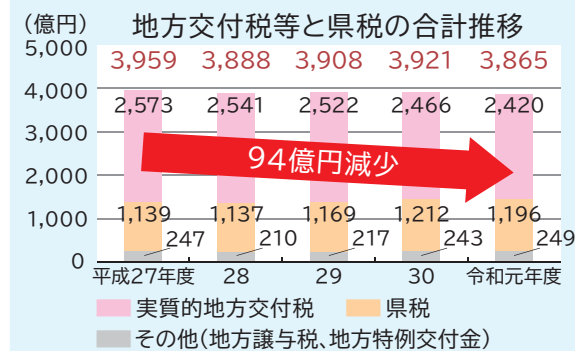
県では、県民の皆さんが納めた税金がどのように使われているかをお知らせするため、予算や決算の状況を毎年公表しています。今回は、令和元年度の決算や県の財政状況の概要をご紹介します。

## 令和元年度決算(一般会計)



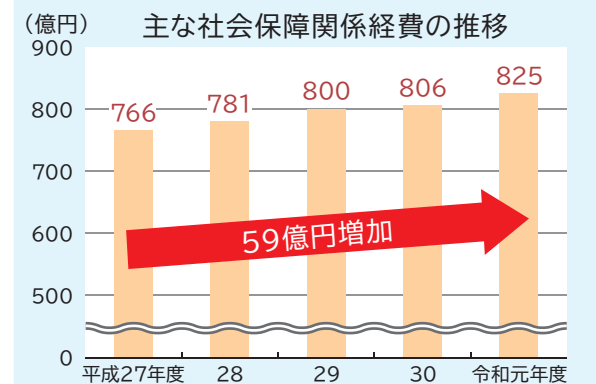
## 長崎県の財政状況の概要

### 収入の特徴



近年の緩やかな景気回復の影響などから、県税収入は高い水準で推移する一方、地方交付税等は減少傾向にあります。合計額は平成27年度に比べると約94億円減少しています。

### 支出の特徴



少子化対策、国民健康保険、高齢者医療などに要する主な社会保障関係経費の県負担額は、平成27年度と比べると約59億円も増加しています。

全国的に社会保障関係経費が増え続けていますが、本県も例外ではありません。一方で、県の収入の大部分を占める国からの地方交付税等と県税の合計額は減少傾向にあります。このため近年は、県の貯金にあたる基金を取り崩して財政運営を行っていますが、収支改善の取り組みにより、年々、取崩額を圧縮しています。

